

10月1日(日)

聖書
聖句

列王上 3・16～28

神の知恵が彼のうちにあつて、さばきをするのを見たからである。28節

「知恵の輪ハズル」好きですか？ みごとに解けると、ヤッター！ っと思うでしょう。知恵は不思議な神様からのプレゼントです。ここに登場するソロモン王の知恵は、全く「神の知恵」としか言いようがありません。「生きているのがわたしの子」と言い張る二人の遊女のどちらが本当の母親か、ズバリ、当てました。母親の心を見抜いたからです。ソロモンは、この知恵を神様から与えられてさばきをしました。この知恵は、神様に願ひ求めて与えられるのです(ヤコブ1:5)。

祈り 天のお父様、大切なことを決めるとき、あなたの知恵が必要です。み言葉の約束を信じて求めさせてください。



聖書 列王上 3・16～28

タイトル ソロモン王

暗唱聖句 神の知恵が彼のうちにあつて、さばきをするのを見たからである。

列王上 3・28

目標 ソロモン王の知恵が神からのものと知る。

10月3日(火)

聖書
聖句

列王上 3・15

ソロモンが目をさましてみると、それは夢であった。15節

あなたはよく夢を見ますか？ 楽しい夢、悲しい夢、こわい夢といろいろあるでしょう。もしかして、イエス様の夢とか教会の夢とかも見たことがあるかしら？ 目がさめても、うれしいですよ。『なあんだ、夢か！』って、ソロモンは忘れてしまったではありません。神様からの夢だったので、ちゃんと心にとめて、エルサレムへ行き、神様を礼拝してささげ物をし、すべての家来をお祝いの食事に招きました。神様が夢の中で約束してくださったことを感謝したのでした。

祈り 天のお父様、あなたは時には大切なことを夢によって教えてくださるということを知り、感謝します。

10月2日(月)

聖書
聖句

列王上 3・3～14

「あなたに何を与えようか、求めなさい。」 5節

まだ若いソロモン王に、主は夢の中でこのように語りかけられました。さあ、もしあなたにこう言われたら、あなたは何を求めるのかな？ ソロモンは若い王様でしたが、「私は小さい子どもで、うで、民はあまりにも多いです。どうぞ善と悪を判断することができるよう、聞きわけの心をくださって、民を正しくさばかせてください」と求めました。神様はとても喜ばれて、さばく知恵に加えて、富も誉も豊かにソロモンに与えられました。そして見事に遊女たちに賢いさばきをしたのでした。

祈り 天のお父様、自分のためにあれこれ求めず、神様の喜ばれることを求めるとき、すべてが与えられると知りました。

10月5日(木)

聖書

列王上 4・22~34

聖句

神はソロモンに非常に多くの知恵と悟りを授け、また海べの砂原のように広い心を授けられた。 29節

ソロモンが神様から与えられた知恵と悟りも大変すぐれたものでした。東の人々やエジプトのすべての知恵にもまさっていました。名声は鳴りひびきました。箴言三千、歌千五首を作り、植物や動物のこともくわしく知っていました。何よりも魅力的ですばらしいのは、「海べの砂原のように広い心」ですね。今日、あなたの心はどうですか？ 氣に入らないことをする人を見て、カリカリしたり、がまんできないとか！私の心も海辺の砂原のように広い心になってくださいと祈りましよう。

いのちの祈り

天のお父様、いつも心がせまくなりやすい私にも、海べの砂原のように広い心を与えてください。

10月4日(水)

聖書

列王上 4・1~21

聖句

ソロモン王はイスラエルの全地の王であった。 1節

「栄華をきわめた時のソロモン」(マタイ6:29)と、イエス様は言われました。イスラエル全地の王、その民の数は海べの砂のように多いのです。高官たちに囲まれ、12人の代官たちは一カ月ごとにソロモン王家の食物をちゃんと準備してくれる！王様も家族も民も、みんな飲んだり食べたりして楽しみました。想像してみてください。あなたが「やりたーい」と思うことが、なんでもできる！「食べたい！」と思うものが、なんでも食べられる！何と、夢のような生活！でも現実だったのです。

いのちの祈り

天のお父様、ソロモンを祝福された神様の祝福の豊かさを知りました。私もあなたの祝福の内を歩ませてください。

10月7日(土)

聖書

列王上 10・1~10

聖句

あなたの知恵と繁栄はわたしが聞いたうわさにまさっています。 7節

ソロモンの名声は遠くアラビア半島の南の果て、シバまで届いて、シバの女王は、「よし、むずかしい質問で困らせてみよう」とやってきました。ところが、どの問いにもみごとに答えたばかりか、ソロモンを囲む人々や食物、ささげる犠牲に、女王の目はまんまるくなってしまったのです。「あなたの知恵について聞いたことは本当でした。しかし半分も聞かされていなかったと知りました」と！シバの女王にも、ソロモンの知恵が神さまからのものだとなりました。

いのちの祈り

天のお父様、もっともっと聖書を読んでお祈りし、あなたからの知恵を心にいっぱい満たしていただけますように。

10月6日(金)

聖書

列王上 5・1~12

聖句

「きょう、主はあがむべきかな。主はこのおびたしい民を治める賢い子をダビデに賜わった」 7節

そんなにも神様の祝福を受けて王位についたからといって、もう人の助けはいらない、なんでも神様の助けをうけて自分の思いのままにやっていける、と、ソロモンは思わなかったのです。父ダビデをいつも、ずっと愛していた友人ヒラムがソロモンのもとに家来をつかわした時、ソロモンはとてもへりくだった心と言葉で、主の宮の建築のために助けを求めました。自分のしもべたちも一緒に働かせますと。ヒラムは大喜びして、ソロモンを王様とした主をたたえました。

いのちの祈り

天のお父様、どんなに力があっても人々と力を合わせ、心を合わせていく謙そんな賢い人とならせてください。

10月8日(日)

せいしよ
聖書
せいいく
聖句

れきだい げ 歴代下14・9～15

主よ、力のある者を助けることも、
力のない者を助けることも、あなた
においては異なることはありません。
11節

困った時、あなたはどうしますか？も
うだめだとあきらめる？だれかにS.O.S
をおくる？アサ王は百万の軍隊と三百
の戦車を見て、すぐに神様に祈りました。
いや、たとえ味方の軍隊が58万という人数
でも、彼らはみな大勇士だから大丈夫、と
は思わなかったのです。「われわれの神、主
よ、われわれをお助けください。われわれ
はあなたに寄り頼み、あなたの名によって
この大軍に当ります」と、全く神様にのみ
寄り頼んで大勝利となりました。

いのちの祈り
天のお父様、力のない小さい私ですが、あ
なただけに助けを求めて祈ります。あなたを心
から信じて、頼ります。



せいしよ
聖書

れきだい げ 歴代下14・9～15

タイトル

アサ王

あんしやう せいいく
暗唱聖句

主よ、力のある者を助けること
も、力のない者を助けることも、
あなたにおいては異なることは
ありません。 歴代下14・11

よく びやう
目標

アサ王が全く神により頼んだ
姿に学ぶ。

10月10日(火)

せいしよ
聖書
せいいく
聖句

れきだい げ 歴代下15・1～7

あなたがたが主と共にいる間は、主
もあなたがたと共にいられます。

2節

アサ王の祈りは聴かれて、あの大军エチオ
ピアびとに大勝利しました。非常に多くの、
ぶんどり物も奪いとりました。その時、アサ
王の心は決して高ぶったり、いい気になっ
たりしないで、神様からつかわされてき
た預言者オデデの子アザリヤの言葉に、へり
下って、耳を傾けたのでした。「主と共にい
なさい。主も共にいてくださるから。勇気を出
しなさい。手を弱くしないように、きつと報
いがあるから」と言うアザリヤの言葉に、アサ王
はますます勇気が与えられました。

いのちの祈り
天のお父様、お祈りにこたえられても得意に
なったりしないで、ますますへりくだって、あな
たの声を聞くことができますように。

10月9日(月)

せいしよ
聖書
せいいく
聖句

れきだい げ 歴代下14・1～8

われわれが彼を求めたので、四方に
おいて、われわれに平安を賜わった。
7節

「こには「穏やか」という言葉が3回もあ
り、「平安」という言葉が2回も記されていま
すね。アサ王が神様の目に良いと見え、正し
いと見えることを民のために行ったので、国
も民も安全、安心だったのです。良い王様、良
いリーダーは民を平和に治めます。アサ王は
偶像を取り払って、まことの神様のみを礼拝
させました。私たちの心の「平安」はどこか
ら？神様のことを第一にして、神様だけに
信頼していくときに、何にもおびやかされな
い「平安」が心に宿ります。

いのちの祈り
天のお父様、私もアサ王のように、いつで
も神様だけに信頼し、神様を第一にして、心
に平安を与えてください。

10月12日(木)

聖書

歴代下15・16~19

聖句

アサは彼女をおとして太后とせず、
その憎むべき像を切り倒して粉々に
砕き、キデロン川でそれを焼いた。

16節

ここに是非常に勇気のあるアサ王の姿を
見ることが出来ます。というのは、アサ王の
お母さんマアカが、アシラのために憎むべき
像を造って、まことの神様以外の偶像を拜
むようになったので、アサ王は自分のお母
さんであつても、きつぱりとその位から退
けてしまいました。そして偶像を粉々に砕
いてキデロン川で焼いてしまいました。アサ
王の心は神様のお心を喜ばせるものでし
た。母よりも神様のことを第一としたから
です(マタイ10・37)。

いの

祈り 天のお父様、たとえ家族であっても、神様
第一の生き方から外れるなら、勇気をもって正せ
るようにしてください。

10月11日(水)

聖書

歴代下15・8~15

聖句

彼らは心をつくして誓いを立て、
精神をつくして主を求めたので、主
は彼らに会い、四方で彼らに安息を
賜わった。

15節

信仰から信仰へ、祝福から祝福へ、
平安から安息へ、何とうれしく感謝な
向上でしょうか!「主がアサと共にお
られるのを見て、イスラエルからアサの
もとに下った者が多くあつた(9)」とあ
ります。主に恵まれている人のもとに
人々は集まってくるのです。そして彼
らは一つ心になつて先祖の神、主を求
めることを誓い、その誓いを喜びまし
た。求める者に主は会つてくださり、
安息を増し加えてくださいます。

いの

祈り 天のお父様、今、私たちも教会のみんなと
心をつにしてあなたを求めます。私たちの
心を安らぎで満たしてください。

10月14日(土)

聖書

歴代下16・11~14

聖句

アサはその治世の三十九年に足を
病み、その病は激しくなつたが、そ
の病の時に、主を求めないで医者
を求めた。

12節

41年間のアサ王の治世の中、35年間は、
アサ王が主を求めたので戦争はありません
でした。36年目に主を求めないで戦争で
失敗しました。そして39年目に今度は足の
病気になる、しかも激しくなつていたので
した。残念なことに、その時も神様に祈ら
ないで医者を求めました。長い41年間の
治世から見れば、たった2年間の病気でし
た。主を求めなかったのは、たった6年間で
した。終りまで神様を求めていればよかつ
たのに。

いの

祈り 天のお父様、私の人生が何年あるのかわか
りませんが、最後まで神様を信じ寄り頼むことが
できますように。

10月13日(金)

聖書

歴代下16・1~10

聖句

主の目はあまねく全地を行きめぐり、
自分に向かつて心を全うする者のた
めに力をあらわされる。

9節

残念だなあ、途中まではよかつたんだけ
ど、終りまでずっと神様を信じていけばよ
かつたのに...という一生になりませんよう
に! 実はアサ王の終りはそんな風になつて
しまいました。今日のみ言葉は何と力強く
素晴らしいものでしょう。でも、アサ王はイス
ラエルの王バアシアが攻めてきた時、神様では
なく、スリヤの王ベネハダデと契約を結び、助
けを求めて失敗してしまいました。注意をし
て来たハナニをも、激しく怒つて獄に入れてし
まったのです。

いの

祈り 天のお父様いつでもどこでも、そして終りま
で、ずっと神様のみに寄り頼ませてください。あ
なたの力を信じます。

10月15日(日)

せいしよ
聖書

れきだいげ
歴代下20・13~30

せいいく
聖句

これはあなたがたの戦いではなく、
主の戦いだからである。 15節

谷のイメージはふつ、「涙の谷」とか「死の陰
の谷」とか暗いのですが、「こはベラカ(祝福)の
谷と呼ばれます。ヨシヤパテ王に与えられたベラ
カの谷の勝利の秘訣を、この一週間さぐるこ
にしましょう。エドムからの大軍が攻めてくると
聞いて、ヨシヤパテ王も民も断食をして主に祈り
求めました。神の霊がヤハジエルに臨み、「この
戦いは主が戦ってくださいから恐れないでよ
い、主があなた方と共におられるから」と励まし
ました。今、神様を信じる者の戦いも、実は主
の戦いなのですね。

いのちの祈り
天のお父様、あなたを信じる者の戦いは、
あなたの戦いです。あなたは必ず共にいて勝利
を与えてくださると信じます。



せいしよ
聖書

れきだいげ
歴代下20・13~30

タイトル

ヨシヤパテ王

あんしやう
暗唱聖句

これはあなたがたの戦いではな
く、主の戦いだからである。

れきだいげ
歴代下20・15

もく
目標

ベラカの谷の勝利の秘訣をさぐ
る。

10月17日(火)

せいしよ
聖書

れきだいげ
歴代下20・5~12

せいいく
聖句

われわれはこのように攻めて来る
大軍に当る力がなく、またいかにな
すべきかを知りません。ただ、あな
たを仰ぎ望むのみです。 12節

ヨシヤパテは主の宮の新しい庭の前で祈
りました。ユダとエルサレムの人々も聞いて
いました。先祖の神様、天にいます神様、
異邦人のすべての国を治められる、力と
勢いのある神様に祈りました。ありのま
ま、自分たちのありさまを話しました。
「私たちにはこのように攻めてくる大軍に
当る力はありません、どうしたらよいか
もわかりません。ただ、あなたを仰ぎ望む
のみです」と。私たちがこのように祈れば
よいのです。

いのちの祈り
天のお父様、ヨシヤパテのように、あなたに
いつでもありのままを祈ればよいことを知り
感謝します。

10月16日(月)

せいしよ
聖書

れきだいげ
歴代下20・1~4

せいいく
聖句

そこでヨシヤパテは恐れ、主に顔を
向けて助けを求め、ユダ全国に断食
をふれさせた。 3節

モアブびと、アンモンびと、メウニびとと
ち、神様を信じない人々の連合軍がヨシヤパ
テ王と戦おうと攻めてきます。それを知つ
たヨシヤパテは恐れしました。神様を信じてい
ても心に恐れがわいてきます。でもその次に
ヨシヤパテがしたのは、「主に顔を向けて助
けを求め、ユダ全国に断食をふれさせた」ので
した。ユダの民みんなで断食をし、心を合わ
せて主の助けを祈り求めるためでした。王と
して一番よいことをしました。主の助けを求
めることがいつでも最善です。

いのちの祈り
天のお父様、困った時、心に恐れがわいて
くる時、まずあなたに顔を向け、あなたの助けを
求めます。

10月19日(木)

聖書

歴代下20・18~19

聖句

ヨシャパテは地にひれ伏した。ユダの人々およびエルサレムの民も主の前に伏して、主を拝した。 18節

必死の祈りと求めを、神様が聴いてくださらないはずはありません。主の霊がアサフの子孫であるレビびとヤハジエルに臨みまし
た！ヤハジエルは、神様からの力ある励まし
の言葉を語りました。「主の勝利を見なさい。
あす攻めて行きなさい」と。その時、ヨシャパ
テ王とすべての民は主の前にひれ伏して礼拝
しました。「あなたこそ、すべてのすべて」と。
さらにコラビとの子孫は先取りのさんびをし
ました。何よりもまず礼拝、そしてさんびで
勝利です。

いの祈り 天のお父様、み言葉を信じ、まずあなたを
礼拝し、信仰によるさんびをすところ勝利の
道が開かれると知り感謝いたします。

10月18日(水)

聖書

歴代下20・13~17

聖句

ユダの人々はその幼な子、その妻、
および子供たちと共に皆主の前に
立っていた。 13節

子どもたち、幼な子たちも出番だよ！ヨ
シャパテ王と共に、国が危ない時人々はみん
な、全員、心一つにして神様の前に立つた
のでした。男の人だけでなく、女の人たち
も、大人の人たちだけでなく、子どもたち
も、さらには幼子たちも一緒でした！何だか
よくわけはわからなかったけれども、みんな
と一緒に神様の前に立つたのです。それは、た
だひたすら神様を仰ぎ、何とかして助けてく
ださいと、国中のみんなが祈っている姿で
す。子どものお祈りも大切なのです。

いの祈り 天のお父様、子どもたちも大人たちと一緒に
なってお祈りをする大切さを知りました。祈る子
どもにしてください

10月21日(土)

聖書

歴代下20・24~30

聖句

四日目に彼らはベラカの谷に集ま
り、その所で主を祝福した。 26節

ヨシャパテと民は何をしましたか？神様に祈
り、み言葉を信じ、感謝のさんびを歌っただけ
でした。全く、神による勝利でしたね。アンモン、
モアブ、セイルの民たちの持ち物の家畜、宝石、
財宝、衣服などを奪おうとしましたが、あまりに
もたくさんありすぎて、とてもとても運びきれ
ないほどで、三日もかかったというのです！つい
に四日目、彼らは「ベラカ(祝福)の谷」にみんな
で集まって、神様を心よりほめたええました。
信仰と感謝と喜びに満ちて！

いの祈り 天のお父様、私も信仰と勝利の記念として
の「ベラカの谷」を、たくさん経験することがで
きるよう助けてください。

10月20日(金)

聖書

歴代下20・20~23

聖句

あなたがたの神、主を信じなさい。
そうすればあなたがたは堅く立つこ
とができる。 20節

大事なことを朝早く起きてしました。ヨ
シャパテ王は、「主を信じなさい。主の預言者
を信じなさい」と人々を励まし、信仰を助け
ました。そして次は信仰によるさんびです。
感謝のさんびでした！敵は攻めてきているの
にです。ところが「彼らが歌をうたい、さんび
し始めた時」、その時、主の奇跡が始まりまし
た。神様が備えた待ち伏せた兵、さらには
同志討ちで、敵は何と全滅しました！私た
ちの信仰を、神様はどんなにか喜ばれます
(ペル11:1,6)。

いの祈り 天のお父様、本当に「信仰は勝利」というこ
とがよくわかりました。見えないあなたを深く信
じたいです。

10月22日(日)

聖書

列王下19・1～19

聖句

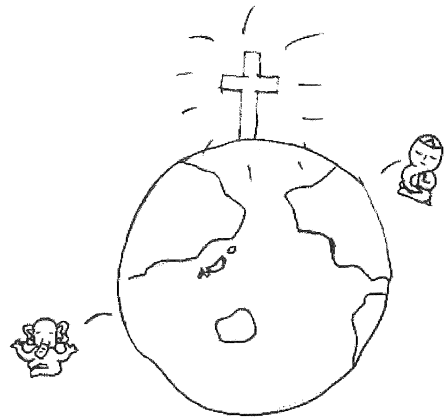
主よ、地のすべての国のうちで、ただあなただけが神でいらせられます。

15節

25歳で王となったヒゼキヤ王は、ダビデのよ
うに善い王様でした。彼が39歳になった時、
アッスリヤの王セナケリブが攻めてきてユダの
町々を取りました。將軍ラブシャケが王様と
民をおびやかして来て、ひどい言葉をかけま
す。王様は悲しみを表す荒布を着て主の宮に
入り、自分に仕える人々にも荒布を着させて、
預言者イザヤのもとに使者としてつかわし、
祈ってもらいました。そして王様自身も、「あな
ただけが神様です」と、イスラエルの神様に信頼
して祈りました。

いのちの祈り

天のお父様、ヒゼキヤ王も一番よいことをし
ました。私も困った時、まことの神様であるあ
なたに祈らせてください。



聖書

列王下19・1～19

タイトル

ヒゼキヤ王

暗唱聖句

主よ、地のすべての国のうちで、
ただあなただけが神でいらせら
れます。

列王下19・15

目標

国の危機の時のヒゼキヤ王の姿
から教えられます。

10月24日(火)

聖書

列王下19・8～13

聖句

あなたはアッスリヤの王たちがもろもろ
の国々にした事、彼らを全く滅ぼした事
を聞いている。どうしてあなたが救われ
ることができようか。

11節

ラブシャケの言葉は確信と力にあふれ
ていて、ああ、本当にアッスリヤ王は強いん
だ、もう私たちはだめかも、もう救われ
ないんだ、と思わせてしまします。でもこ
れは、今も同じ口で神の子どもたちをお
びやかして、おどかしてくる悪魔の方法なの
です。たしかに悪魔の力、罪の力、誘惑の
力は強く、「どうしてあなたが救われるか
!?」と迫ります。しかし、まことの神様に
祈り求めると救われるのです。

いのちの祈り

天のお父様、どんなに強い悪魔のささやきや
誘いがあっても、すぐにあなたにお祈りできるよ
うにしてください。

10月23日(月)

聖書

列王下19・1～7

聖句

あなたの神、主はラブシャケがその主君
アッスリヤの王につかわされて、生ける
神をそしったもろもろの言葉を聞かれた
かもしれません。

4節

ヒゼキヤ王は、イスラエルのまことの神様
を信頼したと共に、そのまことの神様の
預言者イザヤをも深く信頼していたので、
使者をつかわして祈ってもらいました。「イ
ザヤの神、主は、きっとラブシャケの生け
る神様をそしる言葉を聞かれていますにちが
いないと言いい、残っている者のためにぜひ
祈ってくださいと頼みました。私たちも
神様を信じると共に、牧師先生を信頼し、
何でも祈ってもらいましょう。

いのちの祈り

天のお父様、私たちにも信頼できる牧師
先生を与えてくださり、いつでも共に祈っていた
だけることを感謝します。

10月26日(木)

聖書

列王下19・20～31

聖句

ユダの家ののがれて残る者は再び
下に根をはり、上に実を結ぶであらう。
30節

ヒゼキヤ王は、「アッスリヤの王セナケリブについであなたがたがわたしに祈ったことは聞いた」という神様からの返事を、イザヤの使者から聞きました。何と心強い返事だったことでしょう。アッスリヤ王については、「彼はこの町にこない」という預言の言葉も聞きました。そればかりでなく、ユダの国への約束の言葉もいただきました。上に実を結ぶために大切なことは何でもしよう？それは、下に深く根を張るということです。根は見えない部分です。神様に深く深く信頼して、祈る生活をいっぺいします。

祈り 天のお父様、私もあなたのみ言葉に堅く立って、もっともとお祈りして、実を結ぶ人となれますように。

10月25日(水)

聖書

列王下19・14～19

聖句

われわれの神、主よ、どうぞ、今われわれを彼の手から救い出してください。
19節

ヒゼキヤ王はおどかしの手紙を読み、それを主の宮に持って行って主の前に広げて祈りました。「神様、ごらんください。この通りです」と。私たちもそうしたらいいですね。アッスリヤの王たちに滅ぼされた神々は、実は人の手で作ったもので、木や石だったから滅ぼされたのです。しかし、本当の神様はそうではありません。「今、私たちを救ってください。そうして、あなただけが、本当の神様であることを、この世の人々が皆知るようにしてください」と祈りましょう。

祈り 天のお父様、私たちがあなたに祈って救われる時、他の人々はあなたこそまことの神様と知ることができるので答えてください。

10月28日(土)

聖書

列王下19・35～37

聖句

その夜、主の使がでて、アッスリヤの陣営で十八万五千人を撃ち殺した。
35節

夜の間に起こった神様の奇跡！主の使がでて、十八万五千人という大勢の人々を撃ち殺してしまつたのです。しかも約束のように、恐るべきセナケリブ王は帰って行き、二ネベで偶像を礼拝している時、自分の子どもたちに殺されてしまいました。神様はイザヤを通して、ヒゼキヤ王と民たちに完全な守りと勝利を与えられました。今の時代も、いつ何が起るかわからない恐れに困まれた毎日です。平和な日々は当たり前ではなく、主に守られているのです(詩篇34・7)。

祈り 天のお父様、あなたの守りの御手の中で、日々、奇跡的に守られ過ごすことができていることを覚えさせてください。

10月27日(金)

聖書

列王下19・32～34

聖句

わたしは自分のため、またわたしのしもベダビデのためにこの町を守って、これを救うであらう。
34節

あれほどにも強烈におどしをかけてきたアッスリヤ王は、「この町にこない」「この町にはいることはない」と神様は言われます。なんという救いの約束でしょう！それは神様が、ご自身のため、また神様のしもベダビデのために、この町を守って救われるからです。私たちのまわりにも恐ろしいことがたくさん起こるでしょう。でも神様を信じる者を、神様はご自分のため、ダビデの子イエス様のために、きつと守ってください。

祈り 天のお父様、恐ろしいことのいっぺい起こる毎日ですが、神様を信じる私を必ず守り、救うとのお約束を感謝します。

10月29日(日)

聖書

列王下22・1～20

聖句

ヨシヤは主の目にかなう事を行ない、先祖ダビデの道に歩んで右にも左にも曲らなかった。 2節

小学校2年生で国の王様だって！小さい子どもは右や左にとよく道草をします。ヨシヤ王はまっすぐに歩いたと書かれています。あなたはどうですか？今、僕のやっていることは神様に喜ばれる事なのか？ダビデ王の歩んだ道なのか？とチェックしながら、神様に守られて歩みました。今も、私たちが右や左にそれせよとするものが回りにいっぱい！この道は天国につながる道かな？それとも神様から完全に離れてしまうところにつながる道かな？と考えればすぐ解決。まっすぐに前進、前進！

いのちの祈り

天のお父様、いつもしっかりとイエス様の道を歩み、天国をめざして右にも左にも曲らず進ませてください。



聖書

列王下22・1～20

タイトル

ヨシヤ王

暗唱聖句

ヨシヤは主の目にかなう事を行ない、先祖ダビデの道に歩んで右にも左にも曲らなかった。 列王下22・2

目標

ヨシヤ王の時代のリバイバルにならう。

10月31日(火)

聖書

列王下22・14～20

聖句

心に悔い、主の前にへりくだり、衣を裂いてわたしの前に泣いたゆえ、わたしもまたあなたの言うことをきいたのでと主は言われる。 19節

聖書を読むことは何と大切なことでしょう。王様はそれによって自分たちの姿と、神様の怒りをはつきりとわかることができました。たのです。女預言者ホルダが語った神様の言葉で、さらに大切なことがわかってきました。つまり、神様の言葉が心にささる時、心から悔い改めることの大切さ、主の前にへりくだることの大切さ、真剣に罪を悲しむことの大切さを深く知りました。真実な神様はそうように悔い改め、へりくだる者をあわれんでくださいます。

いのちの祈り

天のお父様、神様の御前で、へりくだって罪を悲しむこと以上に、大切なことはないのだと、よくわかりました。

10月30日(月)

聖書

列王下22・3～13

聖句

王はその律法の書の言葉を聞くと、その衣を裂いた。 11節

26歳の青年ヨシヤ王のうるわしい姿を見ましょう。主の宮の破れを直そうとする忠実な人々に必要なものを与えました。その時、大祭司ヒルキヤが主の宮で発見したもの！それは律法の書でした。ヒルキヤから律法の書を受けとった書記官シャパンは、それを王様の前で読みました。するとその律法の言葉は青年ヨシヤ王の心にグサリとささったので、王様は衣を裂きました。悔い改めの姿です。王様の心はとても柔らかい心で、主の言葉をまともに受け止めたのです。

いのちの祈り

天のお父様、何歳になっても、神様からの語りかけであるみ言葉を、柔らかい心で受け止めてさせてください。

11月2日(木)

聖書

列王下23・4～14

聖句

また主の宮にあった神殿男娼の家
をこわした。 7節

本当の勇氣は、神様の言葉によつていた
だくものだということがよくわかります。神
の民であり、モーセを通していただいた十戒
を持つていたにもかかわらず、イスラエルとユ
ダの人々が信じられないほどの罪を国だけで
なく、主の宮の内にさえも満ちていたこと
がよくわかります。若いヨシヤ王は、それら
一つひとつを焼いたり、こわしたり、捨てた
り、やめさせたりしたのでした。すべての偶像
をこわすという、大改革がヨシヤ王によつて
なされました。

いのちの祈り
天のお父様、知らず知らずの内に心の中に
偶像があるようでしたら、勇氣をもってすべてを
捨てさせてください。

11月1日(水)

聖書

列王下23・1～3

聖句

民は皆その契約に加わった。

3節

立派な王様とは？このヨシヤ王のような人
です。神様から、「あなたは災を見ることは
ない」(22・20)と言われて、「ああ、よかった」
というのではなく、民全員が今からでも神様
のお心になうようにと願つたのです。そこ
ですべての民をしたがえて主の宮にのぼり、
契約の書の言葉を読み聞かせました。そして
これらの言葉を守り、行うことを誓う契約
を立てさせました。民は皆その契約に加わつ
たとあります。ヨシヤ王は信頼されていたの
です。

いのちの祈り
天のお父様、自分だけよければ、それでいい
のではなく、ヨシヤ王のような立派な精神の持ち
主にしてください。

11月4日(土)

聖書

列王下23・24～25

聖句

ヨシヤのように心をつくし、精神をつく
し、力をつくしてモーセのすべての律法
にしたがい、主に寄り頼んだ王はヨシヤ
の先にはなく、またその後にも彼のよう
な者は起らなかった。 25節

「律法の言葉を確実に行うために」
とあるように、ヨシヤ王は徹底的に
神様の言葉に従いました。「心をつく
し、精神をつくし、力をつくして」とい
う言葉のとおりですね。徹底して行っ
たのは、「口寄せと占い師と、テラピム
と偶像」その他憎むべきものを取り除
いたということです。これらは、今の時
代も神様の怒りを受けるでしょう。あ
なたは占いに捕えられてはいません
か？ヨシヤ王にならしましょう！

いのちの祈り
天のお父様、私もヨシヤ王のように、心をつ
くし、精神をつくし、力をつくしてあなたに
従っていきたいです。

11月3日(金)

聖書

列王下23・15～23

聖句

ヨシヤ王の第十八年に、エルサレム
でこの過越の祭を主に執り行った
のである。 23節

ヨシヤ王にとって26歳という年は特別な
年となりましたね。私たちにとっても特別な年
があるでしょう。特に神様と私との関係にお
いてね。イエスを救い主と信じた年、洗礼を
受けた年とかね！このヨシヤ王の第18年とい
う年はヨシヤ王だけの特別な年になったので
はなく、イスラエルとユダの民全体にとつても
特別な年となりました。つまり、ヨシヤの
時代以来、久しぶりに過越の祭りが行われ
たのでした！それは、救い感謝する大切な
祭でした。

いのちの祈り
天のお父様、私にも特別な年、救いの年を
お与えください。そして、いつも感謝をもって
記念させてください。

11月5日(日)

聖書

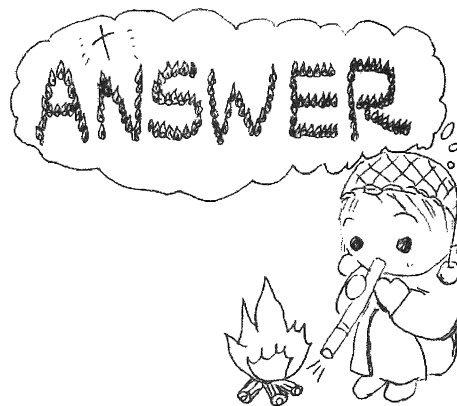
列王上 18・30~40

聖句

火をもって答える神を神としましう。
24節

王様も民も偶像をうやまい拝む者だった頃、信仰を導く預言者たちが神様からつかわれました。その一人がエリヤです。偶像と対決するまことの神様の預言者エリヤ！バアルの預言者四五〇人、アシラの預言者四〇〇人、まことの神様の預言者はエリヤただ一人。バアルの神はいくら呼んでも答えません。エリヤは祭壇をととのえ、水浸しにして、たきぎと牛をのせました！「わたしに答えてください」との短い祈りに、みごとに天からの火が下ったのでした。

祈り 天のお父様、火をもって答えられたあなたこそ、今も変わらず生きておられるまことの神様であることを信じます。



聖書

列王上 18・30~40

タイトル

エリヤ

暗唱聖句

火をもって答える神を神としましう。

列王上 18・24

目標

エリヤの大胆な信仰からチャレンジを受ける。

11月7日(火)

聖書

列王上 17・8~16

聖句

主がエリヤによって言われた言葉のように、かめの粉は尽きず、びんの油は絶えなかった。
16節

川の水がかれてもエリヤはそこにいたのでしたが、「その時、主の言葉が」とあります。神様は川のこと、エリヤのこと、おやんとご存知でした。ザレパテのやもめ女と子ども、しかも彼らは少しの材料で調理し、それを食べて死のうとしていたのです！しかし、エリヤは主の約束を告げます。エリヤに言われたとおり、まずエリヤに小さいパンを一つあげました。本当にエリヤの神様が言ったとおりになり、彼女と息子と家族は食べつづけたのです。

祈り 天のお父様、このお約束は、今でもあなたを信じる者のために真実です。養い続けてくださるあなたをほめたたえます。

11月6日(月)

聖書

列王上 17・1~7

聖句

わたしの仕えているイスラエルの神、主は生きておられます。
1節

突然！預言者エリヤの登場です。エリヤが仕えるイスラエルの神様、まことの神様は生きておられることを、偶像崇拜者や民の前に強烈に示すためにつかわれました。「数年雨も露もない」とは何と大胆な宣言でしょう。エリヤは、生きておられる主の言葉のとおりに生きたのです。ケリテ川へ。そこでは約束のようにからすが、朝に夕にパンと肉を運んできて、エリヤを養われました。そして川の水を飲んだのですが、やがて川はかれました。さてエリヤはどうなったのでしょうか？

祈り 天のお父様、私もエリヤのように、生きておられるあなたの言葉のみに導かれて、日々歩めるよう助けてください。

11月9日(木)

聖書

列王上 18・20~29

聖句

あなたがたはいつまで二つのものの
間に迷っているのですか。主が神な
らばそれに従いなさい。 21節

カルメル山での対決です。アハブ王や民に向
かって、「いつまで二つのものの間に迷ってい
るのですか」とエリヤが言う、民はひと言も
答えられませんでした。まことの神様をわ
かっているのに、偶像のバアルを拝んでいたの
です。バアルの神に、呼んでも叫んでも踊って
も、なんの声もないし、答える者もいません
でした。私たちの心が、もしかして、神様と
神様以外のものの中に迷うことがあるかし
ら？ 祈りに答えてくださるのは、イエス様の
父なる神様だけです。

いのちの祈り 天のお父様、見えない神様よりも、何か見えるものや人に頼りやすい私の心をいつも守っていてください。

11月8日(水)

聖書

列王上 17・17~24

聖句

今わたしはあなたが神の人であるこ
とと、あなたの口にある主の言葉が
真実であることを知りました。 24節

死人が生き返ったことで、エリヤの神様は
生きておられ、命を支配しておられることが
ハッキリと証明できました。息子を死より生
きかえらせてもらった婦人は、エリヤが本物
の神様の人で、エリヤが語る主の言葉が真実
であると知ったのです。今、私たちも主イエ
ス様を死人の中からよみがえらせてくださっ
た父なる神様を知って、信じています。この
神様の言葉にうそ偽りは絶対にならないです。
感謝ですね。

いのちの祈り 天のお父様、命を支配されるあなたの真実な言葉をたくさん心にたくわえ、また語れるようにしてください。

11月11日(土)

聖書

ヤコブ 5・13~18

聖句

義人の祈りは、大いに力があり、効果
のあるものである。 16節

生きておられる真実な神様に、お祈りができ
るとは、何とうれしく感謝で、またわくわく楽し
みなことでしょう。苦しい時にはお祈りをしたらい
いですよ。病気になる時も、牧師先生にお祈り
をしてもらいましょう。お互いに、お祈りし合う
ことはとてもいいことです。お祈りには力があ
ります。真実な神様がお祈りに応えてくださる
からです。あのエリヤ。雨をとどめたり、火を下
したり、雨を降らしたエリヤも、私たちと同じ
人間だったのですから。さあ、祈りましょう！

いのちの祈り 天のお父様、祈ることを励ましてくださって感謝します。お祈りして、あなたの力をもっともっと知りたいです。

11月10日(金)

聖書

列王上 18・41~46

聖句

七度目にしもべは言った、「海から
人の手ほどの小さな雲が起っていま
す。 44節

エリヤの祈りで主の火が祭壇に下りまし
た。民は皆見て、ひれ伏して、「主が神である。
主が神である」と言ったのです。さて、カルメ
ル山で火を下して大勝利したエリヤが、今度
も祈って天からの雨を呼び下すところですよ。
アハブ王は食い飲みするのために上つていきま
したが、エリヤはカルメル山頂で、地に伏して
顔をひざの間に立てていました。祈ったので
す！しかも何度も、忍耐強く、「もう一度」と
しもべに言って、七度目に雲。そして大雨でし
た。

いのちの祈り 天のお父様、すぐにやめたり、あきらめたりしないで、エリヤのように答えられるまで祈り続けさせてください。

11月12日(日)

聖書

列王下4・1～7

聖句

「もっと器を持ってきなさい」

6節

預言者エリシャは、生きておられるイスラエルの神に仕えた預言者エリヤのあとつぎです。神様の御名があがめられる奇跡がエリシャを通して次々と行われます。奇跡は神様と預言者の「あわれみの心」からわき出てきます。預言者仲間一人が死に、残された妻と二人の子どもの叫びにこたえます。たった一びんの油がどんどん器に満たされる奇跡! 「もう器はありません」と子どもが言う、神様もそれで十分と、油はとまりました。油を売って借金を払うことができました。

いのちの祈り 天のお父様、「もっと器を」との妻の信仰を喜ばれ、十分な油で借金を払わせ、家族を養われた方をあがめます。



聖書

列王下4・1～7

タイトル

エリシャ

暗唱聖句

もっと器を持ってきなさい。

列王下4・6

目標

エリシャの信仰による奇跡に学ぶ。

11月14日(火)

聖書

列王下4・32～37

聖句

彼ははいて戸を閉じ、彼らふたりだけ内にいて主に祈った。 33節

「あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においてになるあなたの父に祈りなさい」(マタイ6・6)というイエス様のお言葉を思い出します。シュネムの女に与えられた息子が死んでしまいました。お母さんは苦しい心でエリシャのもとにやってきて、子どもの所に導きます。エリシャは家に入り、戸を閉じて、子どもと二人きりになって祈り、子どもの上に伏すと、何と子どもの体が温かくなり7回くしゃみをして目を開きました。

いのちの祈り 天のお父様、エリヤの神も、エリシャの神様も生きておられ、私も同じ神様を信じていることを感謝します。

11月13日(月)

聖書

列王下4・8～10

聖句

いつもわたしたちの所を通るあの人は確かに神の聖なる人です。 9節

エリシャはシュネムでひとりの裕福な婦人から食事の招きを受けました。そこを通るたびに、いつもそこに寄って食事をしたのでした。一緒に食事をしていただけに、もしかしたら食卓でのいろんな会話もあったのでしたが、この婦人はその夫に言いました、「あの人は確かに神の聖なる人です」と!そして小さい部屋を備え置いた。普通の生活をしているだけに「神の聖なる人」と見られ、呼ばれる。一体どうしたら、そうなるのでしょうか?

いのちの祈り 天のお父様、私もあなたの子どもとして、ふさわしい生き方ができるように、そしてあなたがほめられますように。

11月16日(木)

聖書

列王下 4・42～44

聖句

「人々に与えて食べさせなさい。主はこう言われる、『彼らは食べてな
お余すであろう』」 43節

ききんのことを聞いたのでしようか。バアル・シヤリシヤから人がきて、初穂のパンと、大麦のパン二十個と、新穀一袋とをエリシヤのもとに持ってきました。エリシヤは「人々に食べさせなさい」と言うのですが、召使は「えーっ？これを百人に!?」としがります。「主が『彼らは食べてなお余す』と言われるのだから食べさせなさい」とのエリシヤの言葉に従うと、彼らは食べて、なお残したのでした。イエス様のパンの奇跡(ヨハネ6:1～14)のようですね！

いのちの祈り
天のお父様、あわれみに満ちたあなたの言葉を信じて従うとき、その通りになって、心満たされることを感謝します。

11月15日(水)

聖書

列王下 4・38～41

聖句

「大きなかまをすえて、預言者のと
もがらのために野菜の煮物をつくり
なさい」 38節

エリシヤがギルガルに帰ると、そこにききんがありました。食べる物がないなんて今の日本では考えられませんか。自分の前にすわってお腹をすかせている預言者仲間たちのために、大きなかままで野菜の煮物をつくらせます。ところが、よく知らなかった一人が野うりを大がまの中に切つて入れました。食べようとして、「危ない！」と叫んだのです。エリシヤは麦粉をかまに投げ入れて「食べさせなさい」というと、かまの中には毒物はなくなりました。

いのちの祈り
天のお父様、ふつうは食べられないものを食べられるようにして、彼らを養われたことを知り、愛を覚え感謝いたします。

11月18日(土)

聖書

列王下 6・15～23

聖句

「恐れることはない。われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも多いのだから。」 16節

イスラエル王を助けていたエリシヤを捕えるために、スリヤの王はドタンにいたエリシヤの所に、夜のうちに馬と戦車と大軍をつかわし、町を囲ませました。朝早く、神の人の召使が起き出て見ると大軍に囲まれていたので、その若者はエリシヤに叫びました。「恐れることはない」とエリシヤは言い、この若者の目を開いて、火の馬と火の戦車を見せました。エリシヤは敵の目をくらましたり、開いたりして、見事に敵を去らせて、二度とこないようにしました。

いのちの祈り
天のお父様、私の目もいつも開いてくださって、あなたが共にいて強い味方となっていてくださることを覚えさせてください。

11月17日(金)

聖書

列王下 6・1～7

聖句

エリシヤは一本の枝を切り落とし、そこに投げ入れて、そのおのの頭を浮かばせ、「それを取りあげよ」と言った。 6、7節

エリシヤ先生を中心に、預言者仲間たちのうるわしい様子が伝わってきます。住んでいる所が狭くなったので、つまり仲間がふえてきたのです。増改築ということになりました。先生も一緒に行ってくださいというのでエリシヤも行きました。行ってよかったです。借り物の「おのの頭」を水に落してしまつたのです。鉄のかたまりですからブクブクと沈んだのでした。ところがエリシヤが投げた一本の枝で、おのの頭が浮かんできました。ああ助かった！

いのちの祈り
天のお父様、困った時、もうダメと思えるような時、おのの頭を浮かべたエリシヤの神様を思い起こします。

11月19日(日)

聖書

エゼキエル 37・1～14

聖句

人の子よ、息に預言せよ、息に預言して
言え。 9節

「主の神殿もバビロンに滅ぼされる！」と、エ
ミヤやエゼキエルが叫んだとおりになりました。
神様に聞き従わなかったからです。本当にそう
なった時(33章)、先に捕らえられてバビロンに
いたエゼキエルは、そこで慰めともの状態に
もどすとのメッセージを、幻を通して語ったの
です。枯れた骨の幻！絶望的。イスラエルの民
はまさにそうでした。でも主の言葉のとおり、骨
に預言すると筋と肉と皮がつきました。息に
預言すると、生き返って、足で立ち、大群衆と
なったのです。

いの
祈り

天のお父様、絶望的！と思えてもあなたを信
じる者には、なお希望があることをこの幻で知
り、感謝します。



聖書

エゼキエル 37・1～14

タイトル

エゼキエル

暗唱聖句

人の子よ、息に預言せよ、息に
預言して言え。

エゼキエル 37・9

目標

霊の人エゼキエルの幻から教
えられる。

11月21日(火)

聖書

エゼキエル 3・1～11

聖句

わたしはあなたの額を岩よりも堅
いダイヤモンドのようにした。ゆえ
に彼らを恐れてはならない。 9節

神様にそむく民に、エゼキエルが神様の
言葉を伝える前準備です。まず、巻物、神の
言葉を食べると、読んで心に信じると、口に
甘いこと蜜のようだったのです。「み言葉、お
いしいなあ」と思えますか？次は、エゼキエル
の額が、岩よりも堅いダイヤモンドのよう
にされました。強情で反発してくる民に向か
って、しっかりと立つためです。そうして人々が
聞いても拒んでも、エゼキエルは語り続けるこ
とができるためです。私の額はどんな額で
しょう？

いの
祈り

天のお父様、神様を拒む人からどんな言葉が
はね返ってきても、決して恐れないように、強い
信仰を与えてください。

11月20日(月)

聖書

エゼキエル 1・1～21

聖句

わたしがケバル川のほとりで、捕囚
の人々のうちにいた時、天が開けて、
神の幻を見た。 1節

神様にそむいてばかりいる人々の中で選ば
れたエゼキエルに、神様は不思議な、それでい
て大切な幻を見せました。四つの生きも
の、人の姿で、四つの顔、四つの翼の下に人
の手がある。「うわーあ、すごい幻だ」。エゼ
キエルはびっくり、こわごわ、ふるえたでしょ
うか。それに光る輪でした。この輪がいつで
も、どんな時も生きものについて行ったとい
うのが注目点！この生きものと輪のように、
エゼキエルもこれから神様の言われる通りに
するのです。

いの
祈り

天のお父様、私もエゼキエルや幻のよう
に、いつでもどこでもあなたについて行くことが
できるように助けてください

11月23日(木)

聖書

エゼキエル 36・22～32

聖句

わたしは新しい心をあなたがたに
与え、新しい霊をあなたがたの内に
授け、あなたがたの肉から、石の心
を除いて、肉の心を与える。26節

私の心は石のように冷たくて、堅い
なあとと思うことがありますか？イスラエ
ルの民の心がそうだったのです。それで
神様の言われることが素直に聞けなく
て、とうとう滅ぼされてしまいました。し
かし神様はそんな民に、清い水を注いで
偶像から清め、新しい心と新しい霊を
与えて、やわらかくて従いやすい肉の心
をくださるとの約束です。そして心から
従う者になってくださいます。今は聖霊の
助けでこうなれるのです。

いの祈り
天のお父様、私の心も石の心でなくやわ
らかい肉の心になってくださり、喜んであなたの
言われるとおりでできますように。

11月22日(水)

聖書

エゼキエル 18・19～32

聖句

わたしは何人の死をも喜ばないの
であると、主なる神は言われる。そ
れゆえ、あなたがたは翻って生き
よ。32節

神様のハートのどまん中からのメッ
セージです。「罪を犯す魂は死ぬ」ので
す。一人一人と神様との関係です。悪人
であつても悔い改めて罪を離れば生き
ます。必ず生きるのです。また今義人
あつても、その人が正しいことを離れて悪
を行うならば死ぬのです。神様はイスラ
エルの民に叫びます。「悔い改めなさい、
すべてのとがめられる行いから離れなさい。
私はひとりも死んでほしくない。向
きを変えて生きなさい！」と。この叫びは
すべての人へのものです。

いの祈り
天のお父様、「生きよ！」とのあなたの心
を感謝します。一人でも多くの人が悔い改めて
救われますように。

11月25日(土)

聖書

エゼキエル 48・30～35

聖句

この日から後、この町の名は『主そ
こにいます』と呼ばれる。35節

エゼキエルが見せられた神殿と町の幻は、
永遠の神の都とそっくりですよ(黙示録 21・22
章)。さて、最後にこの町の呼び名が記されてい
ます。最近、合併して町の名前が変わった所も
たくさんありますね。あなたの町も変わりました
か？さてこのエゼキエルの幻の町は『主そこに
います』『アドナイ・シヤー』と呼ばれました。
何てすばらしく、うれしくも、心強い名前でしょ
う！主がそこにいてくださるので、本当に心安
らぐ所ですね。

いの祈り
天のお父様、あなたを信じる私たちの町名
は、どこも『主そこにいます』です。あなたが共
にいて守ってくださり感謝です。

11月24日(金)

聖書

エゼキエル 47・1～12

聖句

これはその水がはいると、海の水を
清くするためである。この川の流れ
る所では、すべてのものが生きてい
る。9節

あなたの住んでいる所に川が流れてい
ますか？きれいな川ですか？エゼキエルが
幻に見た川は、神殿の敷居の下からでし
た。祭壇、つまりイエス様の十字架のゆえに
流されるようになった、聖霊の川のこと
です。だんだん深くなり、おわりには泳げる
ほどの深さでした。さらにすごいのは、この
川が流れている所では、たくさん生き物
や魚がいました。この川は海の水を清く
し、この川の流れる所では、すべてのもの
が生きている。すばらしい命の川です。

いの祈り
天のお父様、目には見えませんが聖霊のいの
ちの川を感謝します。私も生き、他の人たちも生
きるようにとお祈りします。

11月26日(日)

聖書

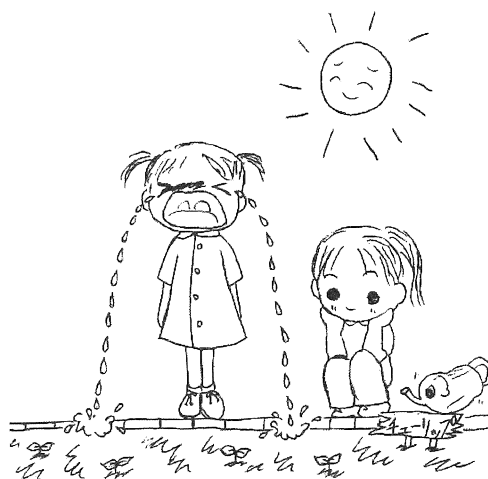
詩篇126・1～6

聖句

涙をもって種まく者は、喜びの声を
をもって刈り取る。 5節

今日は収穫感謝礼拝です。きつかけとなった
出来事は、一六二〇年のことです。イギリスで
信仰の迫害を受けたピューリタン(清教徒)
百二名はオランダにのがれましたが、そこでも
迫害され、メイ・フラワースでアメリカに行きま
した。まず教会、そして自分たちの家を建てま
したが、冬はあまりに厳しく半数の人々が死に
ました。先住民の人たちに農作物の作りかたを
教えてもらい、翌年大収穫でした。まさに涙を
もって種をまき、喜びの声をもって刈り取りま
した。

いのちの祈り 天のお父様、純粋な信仰者たちの喜びを共
にして、今も収穫を豊かに与えてくださるあな
たに心から感謝します。



聖書

詩篇126・1～6

タイトル

喜びの収穫

暗唱聖句

涙をもって種まく者は、喜びの
声をもって刈り取る。

詩篇126・5

目標

豊かな収穫のために多くの涙
を流そう。

11月28日(火)

聖書

詩篇126・2

聖句

その時「主は彼らのために大いなる
事をなされた」と言った者が、もろ
もろの国民の中にあつた。 2節

「うわあ、これって、まるで夢みたいって思
うほどうれしいことがありましたか?」エルサ
レムに帰れる!と胸をおどらせていた人々
の口は笑いでいっぱい。笑いがあふれてきて止
まらない。喜びの音がわきあがります。そん
な彼らを見たまわりの国々の人は、「ああ、彼
らの主はほんとうに彼らのために大いなる事
をなさったんだ」と言ったのでした。私たち
も神様がなしてくださった救いを心から喜
び感謝し、笑いに満ちて神様のみわざをあか
しめましょう。

いのちの祈り 天のお父様、あなたの数々のみわざを思い、
心からの感謝と喜びと笑いとで満たしてくだ
さって、人々があなたを認めますように。

11月27日(月)

聖書

詩篇126・1

聖句

主がシオンの繁栄を回復されたと
き、われらは夢見る者のようであつ
た。 1節

詩篇一二六篇を味わいましょう。バビロ
ンでの70年が終り、捕われの身であったユ
ダヤ人たちが自由にされ、なつかしい祖国
へ帰れるようになったときの詩です。ちょ
うどエレミヤやエゼキエルが預言したこと
がそのとおりになりました。「回復」とはう
れしいことです。病気が治って元氣な
生活に回復する喜び!みなさんも知って
いますね。70年も愛するエルサレムから遠
く離れていて、やっとなつかしい町に帰れ
るのですから、本当に夢みたい!

いのちの祈り 天のお父様、悲しいことがあっても、あなたはまた回復してくださるお方ですから本当に
感謝します。

11月30日(木)

聖書

詩篇126・4

聖句

主よ、どうか、われらの繁栄を、ネゲブの川のように回復してください。
4節

喜びにあふれて、彼らはますます、真実な神様にお祈りしました。私たちも神様が飛び上がるほどうれしいことをしてください。時、この真実な神様に、素直にもっとお祈りすればいいですね。ネゲブの川とは、南の川とも呼ばれ、収穫のころには水かさが増し、あふれるばかりになるそうです。主よ、このように回復してくださいのですから、「あのネゲブの川のように、あふれるばかりの祝福をください」と、大胆に求めよう！

いのちの祈り

天のお父様、偉大で真実なあなたの前に、さらに大胆に祈り求めていくことができますから感謝でいっぱいです。

11月29日(水)

聖書

詩篇126・3

聖句

主はわれらのために大いなる事をなされたので、われらは喜んだ。
3節

人生には3つの坂がありますよ。一つは上り坂、もう一つは下り坂、あと一つは「まさか」の坂と言われますね。この時の「まさか」は、とてもあり得ないと思えるようなうれしい、大いなる出来事が現実になったのです。神様の方はちゃんと、約束のとおり、七十年が経ったので、もとに帰したのです。神の民から見れば、「え？外国の王クロスの命令だっ！？神様がそう言わせたのだ。まさか、でも本当だ。主よ感謝します。喜ぶ以外にありません」と言うようなことだったのです。

いのちの祈り

天のお父様、私たちの人生の中に、うれしい「まさか」をくださって感謝します。思い切り喜ばせてください。

12月2日(土)

聖書

Ⅱコリント9・6～15

聖句

少ししかまかない者は、少ししか刈り取らず、豊かにまく者は、豊かに刈り取ることになる。
6節

「まかぬ種はえぬ」そのとおり。「少しの種は少しの収穫」そのとおり。「多くの種は多くの収穫」まさに、そのとおりです。ここはパウロ先生が、愛のほどこしについて記しているところ。また神様へのささげものについてとも言えます。それと共に、伝道、つまり、み言葉の種まきも同じことです。私たちはたくさんのみ言葉の種まきに励みましょう。愛のささげものにも、さらには神様への献金においても、感謝に満ちて、豊かにまきましょう。

いのちの祈り

天のお父様、小さな私にもできる種まきはげみたいです。あなたからの大きな収穫を期待いたします。

12月1日(金)

聖書

詩篇126・6

聖句

種を携え、涙を流して出て行く者は、束を携え、喜びの声をあげて帰ってくるであろう。
6節

苦労して、涙を流しながら種をまく人は、きつと、必ず、(という原語の表現なのです)帰ってきます！どのようにして？束をかかえながら、喜びの声をあげてです！この時のイスラエルの人々もそうだったし、農夫の人々もそのとおりですよと言うでしょう。さらに、み言葉の種まきをするクリスチャンにとっても大いなる約束と励ましです。種まきは涙の労苦ですね。なかなか受けとってもらえない、無視される、でも、きつと、必ず喜びの収穫があります。

いのちの祈り

天のお父様、あなたの真実なお約束をありがとうございます。涙の種まきを続けて喜びの収穫を待ちます。

12月3日(日)

聖書

ヨハネ 1・1～12

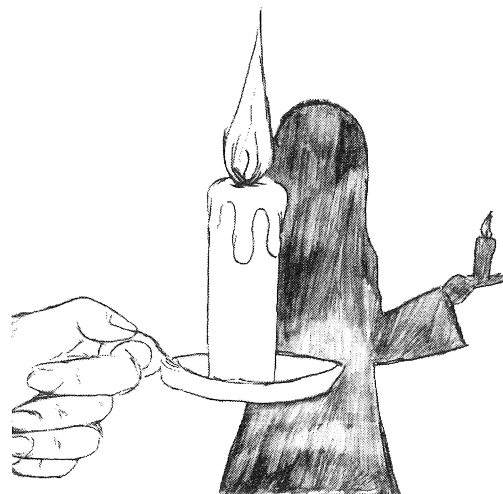
聖句

すべての人を照すまことの光があつて、世にきた。 9節

今年も、うれしいアドベントに入りました。暗い世に輝く真の希望は、クリスマスにこの世においでくださったイエス様だけにあることを、心に深く刻みましょう。全人類の希望。全人類と一言で言いますが、よくよく考えてみるとすごいことです。言葉も皮膚の色もちがう、文化も習慣もものすごくちがう一人一人を照らす唯一のまことの光。その光はすべての人の罪を照らし出し、十字架による救いの道を照らし出す光です。この光に従おう。

いのちの祈り

天のお父様、私の心を照らし、救いの光を照らし、歩むべき道と目標を照らし出してください。光なる主を感謝します。



聖書

ヨハネ 1・1～12

タイトル

人類の希望

暗唱聖句

すべての人を照すまことの光があつて、世にきた。

ヨハネ 1・9

目標

まことの光なるキリストこそ人類の希望であると信じる。

12月5日(火)

聖書

ヨハネ 1・4～5

聖句

光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった。 5節

アドベントに入るとアドベント・クラッツに、日曜日ごとに一本ずつキャンドルをともしますね。それだけでなくおしやれキャンドルを飾ります。そのわけは、光はイエス様だからです。暗い中でマッチをすったり、チャツカマンで火をつけたり、キャンドルに火をともしると、やみは消えていきます。暗い部屋のカーテンをあけると、さっと光線がさし込み、もはや部屋は光の部屋になります。一瞬のうちに！そうです、やみは光に勝てません。慰めです。

いのちの祈り

天のお父様、光なるイエス様は、この世のどんなやみにも勝つことのできる神様であることを信じ感謝します。

12月4日(月)

聖書

ヨハネ 1・1～3

聖句

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であつた。 1節

今週は私たちの信じるイエス様が、どんなにすばらしい神様かということに、目が開かれると思います。初めです。世も何もなかったとき、初めにあったものは「ことば」です。ギリシャ語で「ロゴス」といいます。ヨハネはイエス様のことを「ロゴス」と言っています。そしてこの「ことば」は神様と共にあったし、実はこの「ことば」は神様だったのです。クリスマスにおいでくださる前は、イエス様は神様として初めからおられたお方です。父なる神様と共に栄光の中におられたお方なのです。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様は、すべてのものの初めに、あなたと共におられた神様であることを知り心に刻みました。

12月7日(木)

聖書

聖句

ヨハネ 1・9～13

彼を受け入れた者、すなわちその名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。 12節

自分の力で生まれてきて、自分で生きていくと、かんちがいしている人々が、日本では99%の人たちです。世界は自分を中心に回っているみたいにいる人、私もたくさんいます。しかし、イエス様がこの世に来てくださった時、イエス様によってできた世なのに、その世の人々は何も知らずにいました。ご自分の民の所に来てくださったのに、イエス様を受け入れません。しかし！イエス様を受け入れた者、その名を信じた人々には神様の子どもとなる力、特権が与えられます。

いのちの祈り 天のお父様、こうして心の目を開いてくださって、目にみえない大切なものを信じさせてくださり感謝します。

12月6日(水)

聖書

聖句

ヨハネ 1・6～8

この人はあかしのためにきた。光についてあかしをし、彼によってすべての人が信じるためである。 7節

「あかし」とはね、「たねあかし」だよと言った人がいて、なるほどねと思ったことがありません。光なるイエス様のことをみんなにたねあかしして、すべての人がイエス様を信じるこ

とができるようにと、つかわされたのが、この人、バプテスマのヨハネでした。ヨハネ自身は光ではなく、ただ、光であるイエス様についてたねあかしする人でした。太陽の光の反射を受けて輝く月みたいですね。私たちもヨハネのように、光についてあかしできますように。

いのちの祈り 天のお父様バプテスマのヨハネのしたことは、また私たちにもゆだねられていることを知り、なりたいです。

12月9日(土)

聖書

聖句

ヨハネ 1・17～18

ただ父のふところにいるひとり子なる神だけが、神をあらわしたのである。 18節

人の目で見えるような神様は二つの偶像の神です。いまだかつて、だれ一人として神様を見た者はいません。見たと言ったらその人はいそをついているのです。目に見えない神様を、見える形であらわしてください。それがイエス様なのです。何という神様の愛！イエス様は「父のふところ」におられた方です。そして「ひとり子」なる神様でした。神様にとっては「秘蔵っ子」ですね。この大切なイエス様を、私たちに与えてくださった神様を、心よりほめたたえましょう。

いのちの祈り 天のお父様、神様をあらわしたのはただ、父のふところにいるひとり子のイエス様だけだということがわかりました。

12月8日(金)

聖書

聖句

ヨハネ 1・14～16

そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。わたしたちはその栄光を見た。 14節

肉体となり、宿る、これを受肉、あるいは英語でインカーネーションと言います。ミステリー(不思議)そのもののようです。天で父なる神様と共に、まぶしすぎる栄光の輝きの中におられたイエス様が、こんな暗く冷たい罪深い世に生まれ、しかも弱くもろく、卑しく汚れた私たちと同じ肉体をとってくださったなんて…。まさにこれを「栄光」と言わなくて何と言えるでしょう？そしてヨハネは人と同じ肉体にお宿りになられた、イエス様の栄光の輝きを見ました。

いのちの祈り 天のお父様、どんなに考えても、どう考えても不思議なイエス様の受肉を感謝します。栄光を見続けます。

12月10日(日)

聖書

ルカ2・1～7

聖句

マリヤは月が満ちて、初子を産み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。
ルカ2・6、節

きよしこの夜 み子の笑みに
恵みのみ代の あしたの光
輝けりほがらかに (讃美歌一〇九番3節)
永遠の名曲ですね。人類の希望、イエス・キリストの誕生は歴史をまっ二つにわけました。BC(紀元前)からAD(紀元後・主の支配の年)へとこの地球上に人がいる限り、次から次へと誕生物語があります。あなたが生まれたときのこともお母さんから聞いているかな？
今週は、イエス様のスペシャル(特別)な誕生を聖書から味わい、心から感謝しましょう。

いの

祈り 天のお父様、全人類にとって、イエス様の誕生はすばらしい希望の夜明けであったことを感謝します。



聖書

ルカ2・1～7

タイトル

希望の夜明け

暗唱聖句

マリヤは月が満ちて、初子を産み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。 ルカ2・6、7

目録

真の希望の源泉なるキリストの誕生を感謝しよう。

12月12日(火)

聖書

マタイ1・18～25

聖句

「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう。」 23節

ハッピーで、まだ続きが見たいと思う夢もあるけれど、とても深刻でうなされるような夢もあります。やがてイエス様の母となるマリヤと婚約していたヨセフは、夢を見る前に深刻に悩んでいました。まだ結婚もしていないのに、マリヤのお腹にどうも赤ちゃんができたらしいとわかったからでした。どうしよう？と悩み、うとうととしていた時に、神様が夢の中で訳を教えてくださいました。イエザヤの預言の成就だと言って！ヨセフは本当に安心しました。

いの

祈り 天のお父様、ヨセフもまたイエス様の誕生のために用いられた人でした。預言は必ずそのとおりになると信じます。

12月11日(月)

聖書

イザヤ7・10～17

聖句

見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルととなえられる。 14節

あなたの誕生は、昔から預言されていたのかな？私は、いづどんな所に生まれようと思って生まれてきたのではありません。全部、神様がその心に決めていてくださって、神様だけがすべてのことを知っていてくださいます。ただし、スペシャルな救い主の誕生については、ちゃんと預言されているのです。ここはイエス様の誕生より七百年も前にイザヤという預言者が預言したところです。七百年も前に！しかもおとめが産むことや、その名さえも決まっていた。

いの

祈り 天のお父様、大切なあなたのひとり子、私たちの希望である救い主イエス様の誕生は、はっきり預言されているのを知りました。

12月14日(木)

聖書

イザヤ9・6～7

聖句

ひとりのみどりごがわれわれのため
に生れた。ひとりの男の子がわれわ
れに与えられた。 6節

イザヤはつづいて、その大いなる光が「ひと
りのみどりご」ひとりの男の子だと紹介し
ます。すべてのことを正しく支配されるお方
です。その方の名は、「霊妙なる議士」「ワンダ
フルカウンセラー」です。何でも安心して相談
できる方です。「大能の神、とこしえの父、
平和の君」という素晴らしいお名前の持ち主
が、私たちの救い主イエス様です。お名前の
通りに力ある神様で、永遠の父、そして真
の平和を、私たちの心に満たしてくださる
方です。何とすばらしいお方でしょう！

いのちの祈り
天のお父様、このようにイエス様のことを教
えてくださり感謝します。ますます信じ、何でも
相談していきます。

12月13日(水)

聖書

イザヤ9・1～5

聖句

暗闇の中に歩んでいた民は大いなる
光を見た。暗黒の地に住んでいた
人々の上に光が照った。 2節

「光はやみの中に輝いている。そして、や
みはこれに勝たなかった」(ヨハネ1:5)とI
アドベントに学びました。ここにも大いなる
光として、イエス様のことが預言されていま
す。イザヤの時代、BC八世紀ごろ、人々は正
に暗やみの中、暗黒の地にいました。偶像
礼拝のやみ、そこからくる道徳の低下と悪い
行いで満ちていたのです。しかし、苦しみの
やみ、悩みや暗黒はその大いなる光によつて
吹き払われ、やがてその光は人々に光栄と
喜びを与えるとの預言でした！

いのちの祈り
天のお父様、今の日本も同じ暗やみの中
です。ただイエス様だけが光であり希望です。み
んなに伝えたいです。

12月16日(土)

聖書

ルカ1・46～55

聖句

わたしの魂は主をあがめ、わたし
の霊は救主なる神をたたえます。 46、47節

ヨセフさんのことをはじめ、いろんな
心配事も神様におゆだねして、マリヤは
信仰の賛美、「マグニフィカート」(あがめま
す)を主におささげしました。この賛美は、
昔サムエルの母ハンナが信仰をもつてささ
げた歌ととてもよく似ています。ハンナは
なかなか子どもが与えられなかったのです
が、熱心な祈りを神様が聞いてくださっ
て、サムエルが与えられ、主をたたえたので
した。マリヤは旧約聖書をととてもよく覚え
ている人だったのです。

いのちの祈り
天のお父様、立派な信仰の母、ハンナやマリ
ヤの賛歌を味わいます。私も信仰の賛美をあなたに
ささげます。

12月15日(金)

聖書

ルカ1・26～38

聖句

「恵まれた女よ、おめでとう、主が
あなたと共におられます。」 28節

希望の夜明け、救い主イエス様の誕生のた
めに神様が必要とされた人、お母さんには選
ばれたマリヤはどんな人だったのでしょうか。ナ
ザレという、ガリラヤの静かな町に住む少女
のもとに、ある日、突然、御使いガブリエルが
おとずれてあいさつしました。一体何かし
ら？と思っているマリヤに、「あなたは救い主
イエスの母になります」との言葉！そんな事、
あり得ます？聖霊によるのです。「お言葉ど
おりこの身になりますように」と全く従い
ました。

いのちの祈り
天のお父様、今あなたを信じる私たちも、主
と共にいてくださる恵まれた者たちです。お言葉
に喜んで従います。

12月17日(日)

聖書

ルカ 2・8～20

聖句

きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。

11節

世界最大のグッド・ニュース！神様はそれを
一体だれに一番先に伝えたのでしょうか？
王様？祭司長？律法学者？レビ人？音楽の
リーダー？ノー、ノー、ノーでしたね。そう、
そのころ一番貧しいだけでなく、律法が守れ
ないからと、つまはじきにされていた羊飼
いたちでした！！忠実に、やさしく羊の番をし
ていた夜中のできごとでした。何という光景、
何というメッセージ、何というコーラス、それ
は何という夜だったことでしょう。それっ！ベ
ツレヘムへ！

いのちの祈り

天のお父様、神様の偉大なわざは神様らしい方法でなされ、神様らしい方法で伝えられました。心にとめます。



聖書

ルカ 2・8～20

タイトル

まず貧しい人の希望

暗唱聖句

きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。

ルカ 2・11

目標

卑しく貧しい羊飼いたちに一番に福音が届けられたことを知る。

12月19日(火)

聖書

ルカ 2・12

聖句

あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。

12節

神様は何と不思議な形で、私たちすべてに近づいてくださるのでしょうか。幼子です。だれもが手放して、思わずツツツって近寄っていきまますよね。布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてある！生まれてすぐ飼葉おけの中に寝かされた赤ちゃんなんているかしら？貧しい羊飼いさんたちも、そのままの姿でそこにひざまずいて拝めたのでした。飼葉おけ、それは冷たく汚く小さく臭い、ちよとど私の心のようなそんな私の心にも、主はお宿りくださるしるしです。

いのちの祈り

天のお父様、小さな汚れた私の心の底にまで届くあなたの救いをありがとうございます。へりくだって歩ませてください。

12月18日(月)

聖書

ルカ 2・8～11

聖句

恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。

10節

貧しい羊飼いたちに届けられた、あまりにも豊かな福音のメッセージ。今週、共に味わってみましょう。「恐れるな」とは神様からの最初の語りかけです。人は、いつでも何にでも恐れやすいのです。あなたはどうか？さあ、すべての民に与えられる大きな喜びですよ。それをあなたがたに伝えます。すべての民に、です。すべての民、ひとり残らずどんな人も、イエスの救いが必要なのです。そして信じる者を大きな喜びに満たしてくださる福音です。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様による罪のゆるしの喜び、神様が共にいてくださるといふ大きな喜びを今日も感謝します。

12月21日(木)

聖書

ルカ 2・15～20

聖句

そして急いで行って、マリヤとヨセフ、また飼葉おけに寝かしてある幼子を探しあてた。 16節

貧しい、そして社会の人々からは卑しめられていた羊飼いたちは、なんて純粋で素直な人々だったのでしょうか。神様はこれまで、長い間預言者を通して語ってこられたのに、人々はちっとも耳を傾けず、ちっとも信じてうとせず、ちっとも従おうとしなかったのです。でもやっぱり神様はご存知。人には卑しめられていても、神様には柔らかい心で受け止め従うだろうと、羊飼いたちは神様から信頼されていたようです。「急いで行って、私も従う速い足の持ち主になってください。」

いのちの祈り
天のお父様、アツという間の、ちょうど仕掛け花火のような瞬間でしたが、羊飼いたちが大事に受けとめたことを知りました。

12月20日(水)

聖書

ルカ 2・13～14

聖句

いと高きところでは、神に栄光があるように。地の上では、み心にかなう人々に平和があるように。 14節

パラドックス(逆説)って聞いたことありますか？御使いと一緒に天の軍勢が賛美したこの賛美の中に二つのパラドックスがあります。神の栄光がいと低く、飼葉おけの中に寝かされているみどりごの上にあらわされました。人の栄光はきらびやかで高ぶりの姿ですが、神の栄光はへりくだった姿にあらわれます。地上の軍隊は戦争のために集められ戦いますが、天の軍勢は平和を告げ知らせます。平和の君の誕生です。どんなにか美しいハーモニー(和音)だったのでしょうか。

いのちの祈り
天のお父様、美しいコーラスの中にあなたのみ思いを知らせてくださり感謝です。「へりくだりと平和」を追い求めます。

12月23日(土)

聖書

Ⅱコリント 8・1～9

聖句

主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられた。 9節

クリスマスは、私たちに与えられた大きな喜び、豊かにされる時、永遠の命のプレゼントという最大級の感謝の時です。しかし、神様の側からは大きな大きな犠牲でした。父なる神様は、ご自分より大切なひとり子を手放してくださったのでした。ひとり子イエスは、まさに貧しくなってくださいました。主が天上におられた時の豊かさはどれほどでしょう！それら一切の富をおいて、私のためにこの地上に来られ、貧しさの極みを生きてくださいました。

いのちの祈り
天のお父様、あなたの福音は、貧しい人々にも十二分に届くことが出来る福音であることを知り、聖名をたたえます。

12月22日(金)

聖書

Iコリント 1・18～31

聖句

この世で身分の低い者や軽んじられている者、すなわち、無きに等しい者を、あえて選ばれたのである。 28節

私たち人間が選ぶのと、神様が選ぶのは大きな違いがあるようです。クラス委員を選ぶとか、スポーツチームのキャプテンを選ぶとか、他にもいろいろありますが、人は、できる人、人気のある人などで決めます。しかし神様の選びは、身分なんてありません。どうせあの人は、あの子はって軽んじられている、そこにおいても別にどうってことないと思えるような人をこそ、選ばれるのです。これも不思議、と同時に、やっぱりワンダフル(すばらしい)です。

いのちの祈り
天のお父様、何の選ばれる資格も、とりえもない、本当にゼロのような私さえも選んでくださり感謝です。

12月24日(日)

聖書

マタイ2・1～12

聖句

彼らはその星を見て、非常に喜びにあふれた。 10節

昔、バラムという預言者が一つの星について預言しました(民数記24・17)。メシヤ(救い主)が生まれたことを知らせる星ということでした。ユダヤから遠く離れた所で、星の研究をしていた博士たちがその星を見つけ、早速メシヤをたずねる旅に出ました。二年近くも危険な砂漠の旅をして、エルサレムの王宮をたずねました。王様なら王宮かと思いましたが、ちがいました。預言でベツレヘムとわかり出かけようとする

と、「おつ、あの星だ!」。喜びの再出発でした。

いのちの祈り

天のお父様、今も救い主をさし示す多くの喜びの星があります。異邦人の救いのために書かれた聖書をご紹介します。



聖書

マタイ2・1～12

タイトル

異邦人の希望

暗唱聖句

彼らはその星を見て、非常に喜びにあふれた。 マタイ2・10

目録

遠くよりキリストを探し求めた異邦人のためにも救い主が生まれたことを知る。

12月26日(火)

聖書

マタイ2・4～8

聖句

行って、その幼な子(こ)のことを詳しく調べ、見つかったらわたしに知らせてくれ。わたしも拝みに行くから。 8節

この博士たちを迎えて不安を覚えたのは、ユダヤのヘロデ王(おう)でした。王様ばかりではなく、エルサレムの人々もみな同じように不安になったのでした。祭司長たちや律法学者たちの調べによると、ミカ5章2節にあるように、メシヤはベツレヘムに生まれるようです。でも、とても近いのに、ヘロデ王も祭司長たちも律法学者たちも拝みに行くことはしません。自分こそが王!と高ぶっていたのでした。私たちは博士たちのようにへりくだって、主を求めましょう。

いのちの祈り

天のお父様、今日、私の心があなたから遠く離れていませんように。いつもへりくだってあなたを求めさせてください。

12月25日(月)

聖書

マタイ2・1～3

聖句

わたしたちは東の方でその星を見たので、そのかたを拝みにきました。 2節

「ユダヤ人の王としてお生れになった方は、どこにおられますか(2)」。はるばる東方からメシヤを求め、拝もうとしてこの博士たちはやって来ました。東の方でそのしるしとなる星を見たからでした。それにしても、すごいエネルギー、すごい決心、すごい忍耐、すごい信仰ではありませんか!この人々は異邦人(ユダヤ人以外)の求道者の模範(もはん)のような人々です。今も、こんなにまでして救い主に会いたいと求める人々がおこされますように。

いのちの祈り

天のお父様、熱心に救い主を求めた東の博士たちに見習うことができますように。このクリスマスの受洗者(うせんしや)の上に祝福(しゅくふく)を祈ります。

12月28日(木)

聖書

マタイ2・13~15

聖句

主が預言者によって「エジプトからわが子をお呼び出した」と言われたことが、成就するためである。15節

博士たちを夢で導いて、ヘロデ王には知らせないで、他の道を通って自分の国へ帰らせた神様は、またヨセフに夢の中に現れて言われました。「立て、幼な子とその母を連れて、エジプトに逃げなさい」と。怒りに燃えたヘロデ王が、二歳以下の男の子を、皆殺しにしました。何と恐ろしいことになったのでしょう。でも幼子のイエス様は、ヘロデの刀から守られて、ヘロデが死ぬまでエジプトにいたのです。神様に導かれることは、身が引きしまるようです。

いのちの祈り
天のお父様、イエス様がそのご生涯のはじめからあなたの御手の中にあつたように、私の生涯も握っていてくださり感謝します。

12月27日(水)

聖書

マタイ2・9~12

聖句

宝の箱をあけて、黄金、乳香、没薬などの贈り物をささげた。11節

この博士たちの心はなんとさわやかなのでしよう。星のとおもった家の中にはいると、そこで母マリヤのそばにいる幼な子イエス様にあいました。何とも言えない感動に心がいつぱいになったことでしょう。「長く苦しい旅をしてきたかいがあつたね。さあ、大切に持ってきた宝物をささげよう。このお方のためにとるはる持つてきたのだから」。黄金は王様への贈り物、乳香は祭司キリストに、没薬は十字架の死をとげられる方に。あなたの贈り物？

いのちの祈り
天のお父様、博士たちのように高価なものもささげられなくても、この身体と心をあなたにおささげします。

12月30日(土)

聖書

マタイ2・19~23

聖句

これは預言者たちによって、「彼はナザレ人と呼ばれるであろう」と言われたことが、成就するためである。23節

喜ばしくうれいクリスマス後のいろいろな悲しいこと、苦しいことが起こりました。私たちの生活にもそんなことがあります。この地上は、神様の力と共に、悪魔の力も働いています。でもヨセフにたびたび夢で語りかけられて、マリヤとイエス様を守り導かれた神様は、私たち一人一人を、必ず守ってくださるお方です。イエス様はこのようにして「ナザレ」という所へ行き、そこで少年時代をすごされたのでした。住む所も神様のみ手の中です。

いのちの祈り
天のお父様、イエス様と両親を守り導かれたあなたが、この一年も私と家族を守ってくださって感謝します。

12月29日(金)

聖書

マタイ2・16~18

聖句

こうして、預言者エレミヤによって言われたことが、成就したのである。17節

ベツレヘムとその付近の地方にいる二歳以下の男の子の命が奪われた日。その日は何と悲しく、苦しく、暗黒の日だったことでしょう。涙の預言者エレミヤがその日のことを預言しています。それはエレミヤ31章15節にあるみ言葉「ラケルがその子らのために嘆くのである。子らが、もはやいないので、彼女は子らのことで慰められるのを願わない」です。神様の救いの計画が成しとげられる背後にある犠牲。神様はご存知です。

いのちの祈り
天のお父様、私たちの住む世の中には、とてもわからない、悲しいことがあります。神様は知っていてくださるので慰めます。

12月31日(日)

聖書

ルカ 2・22～38

聖句

異邦人を照らす啓示の光、み民イスラエル
の栄光であります。 32節

献児式って見たことありますか？覚えてはいないけど、行ってもらったお友だちもいることでしょうか？こは、イエス様の献児式です。やつぱりスペシャルでした。生まれて40日目の男の子イエス様ですよ。まだフニヤフニヤ！ほかにもたくさん子どもたちがいたと思うけど、突然、聖霊に満たされた一人の上品な老人シメオンがイエス様を腕に抱いて感激し、神様をほめたたえました。ついに救い主がこられた！人類の希望はみごとに実現した。私はいつでも死ねると！

いのちの祈り

天のお父様、すべての預言中、キリスト誕生の預言も、みごとに実現しました。聖書のみ言葉をなお堅く信じます。



聖書

ルカ 2・22～38

タイトル

実現した希望

暗唱聖句

異邦人を照らす啓示の光、み民イスラエル
の栄光であります。

ルカ 2・32

目標

キリスト誕生の預言はみごとに
実現したことを学ぶ。

1月2日(火)

聖書

ルカ 2・25～32

聖句

主のつかわす救主に会うまでは死ぬ
ことではないと、聖霊の示しを受けていた。 26節

シメオンという人の登場です。私たちの教会にもお年寄りで輝いている、おじいちゃんたちがいるでしょうか。教会にはすべての年代の人がいて輝いているといいですよ。この人は正しい信仰深い人、聖霊が内に宿っている人でした。そして驚くことに、救い主に会うまでは死ぬことではないという、聖霊の示しを受けていたのです。その人が聖霊に導かれて主の宮に入り、ピンと示されてイエス様を抱きました。何です！いいこと。そんな信仰者になりたいですね。

いのちの祈り

天のお父様、みんな救い主に会うまで死なな
いで、多くの人が私たちの教会を通して救い主
に会えますように。

1月1日(月)

聖書

ルカ 2・22～24

聖句

「山ばと一つがい、または、家ばとのひな二羽」と定めてあるのに従って、犠牲をささげるためであった。 24節

今日は主の二〇〇七年の最初の日です。元旦礼拝ではどんなメッセージが聞けるのでしょうか？子ども聖書日課はイエス様の献児式のつづきですよ。でも最初の日が献児式というのもいいですね。ヨセフとマリヤはちゃんと主の律法どおりに行う、神様に喜ばれる両親でした。だってメシヤを育てるために選ばれたのですものね。犠牲をささげるのに、小羊に手の届かない人が「山ばと、または家ばと」をささげました。貧しくて神様を恐れる両親でした。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様も人の子として、ヨセフとマリヤに祈られ、献児式をしていただいたことを知りました。

1月4日(木)

聖書

ルカ 2・36～38

聖句

この幼な子のことを、エルサレムの救を待ち望んでいるすべての人々に語り聞かせた。 38節

イエス様の献児式をスペシャルなものにしたもう一人の人物は、老婦人アンナでした。アンナとは「恵み」という意味の名前です。女預言者で、年ももう84歳という高齢でした。夜も昼も断食と祈りをもつて神に仕えていた彼女が、「ちようどそのとき近寄ってきた神に感謝をささげました。神様のタイミングは少しの狂いもないのですね。感心します。エルサレムの救いを待ち望んでいる仲間たちにすぐさま知らせました。主と出会ったら伝えないではいられないのです。

祈り 天のお父様、私もアンナのようにあなたの恵みを受けています。イエス様のことを多くの人語る一年となりますように。

1月3日(水)

聖書

ルカ 2・33～35

聖句

あなた自身もつるぎで胸を刺し貫かれるでしょう。 35節

シメオンは神様をほめたたえて言います。神様、感謝します。私はついに救い主にお会いしましたから。いつでも安らかにあなたのもとに行けます。この救いは万民のためにあなたが備えられましたと。それを聞く父と母は不思議に思っていました。するとシメオンはマリヤに言ったのです。それは十字架の預言でした。その時、母マリヤも、つるぎで胸をさし貫かれるような苦しみを味わうことになるでしょう。マリヤはきつとこの言葉を心にしまったことでしょう。

祈り 天のお父様、イエス様は十字架で死ぬために生まれてくださいました。主を信じる者も十字架を負う者たちです。

1月6日(土)

聖書

ルカ 2・41～52

聖句

イエスはますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された。 52節

二に一つだけイエス様の12歳の少年の時のエピソードがあります。小学校6年生か中学校1年生のころですね。イエス様が迷子になったのでしょうか？宮で教師たちと語り合うイエス様の賢さや答えは、聞く人々を大いに驚かせていました。それに、もう自分の使命にも目覚めておられたのでした(49)。知恵も背たけもぐんぐん成長、神様と人々からも愛されました。「君は愛されるため生まれた」の賛美のように、私たちも愛されて生きよう！

祈り 天のお父様、私もあなたから、そして人々から愛されて感謝です。あなたを愛し、人々を愛して生きる毎日としてください。

1月5日(金)

聖書

ルカ 2・39～40

聖句

幼な子は、ますます成長して強くなり、知恵に満ち、そして神の恵みがその上にあった。 40節

イエス様の献児式、やっぱりスペシャルでしたね。でもヨセフとマリヤはきちんと主の律法どおりのことを、ふつうの親のつとめとしてやりとげて、イエス様を連れて、自分の町ナザレに帰りました。イエス様はヨセフとマリヤの手の中で育てられ、私たちと同じような赤ちゃんとして大きくなっていったのですね。成長して強くなり、だんだんと知恵も満たされていき、何よりも神様の恵みが注がれました。みんな、神様と両親のお世話になりっぱなしですね。

祈り 天のお父様、私たちと同じように成長していったイエス様のことを思います。神様の恵みを覚えさせてください。